



有明中学校 学校だより
い ち よ う
公孫樹

[有明中学校ホームページ]



令和6年3月号

(有明中シボルツリー)

令和6年3月12日

第77回 卒業式

「送辞」

在校生代表

菜の花が咲き誇り、日増しに春の暖かさを覚える季節になりました。今日のこの良き日に卒業される61名の先輩方ご卒業おめでとうございます。

先輩方と過ごした二年間は、長いようで短い時間でした。瞼を閉じると先輩方と過ごした日々の思い出が鮮やかに蘇ってきます。入学式の日、緊張しながら後を振り返るとたくさんの優しくそうな先輩方がいました。その姿を見て、安心して中学校生活を迎えることができました。

部活をはじめるとき、私は先輩方や一緒に入部する仲間たちとうまくやっていたのか、不安や緊張を抱きながら弓道部の門をたたきました。そんな私たちに先輩方は、優しくアドバイスをしてくださり、場を和ませてくださったり、暖かく受け入れてくださいました。最初の不安や緊張は楽しさへと変わっていきました。部活動をしていく中で、記録の向上や大会の入賞を目指した練習に励んでいる先輩方の姿から、私たちは友だちと切磋琢磨することの大切さを学ぶことができました。

部活動で先輩方が汗を流す姿、そして明るい笑顔は私たちにとってとても輝かしいものでした。先輩方が中心となった体育大会では、一致団結した最高のものとなりました。応援団では、大太鼓の音が響き渡り、とても素晴らしい演奏をすることができました。

文化祭では、三年生の劇が幕を開けると、最上級生らしい劇に考えさせられる場面がたくさんありました。それと同時に、来年は私たちが有明中を引っ張っていくのだということを感じさせてくれました。

まだまだ未熟な私たちですが、先輩方が受け継いできた伝統を責任をもって受け継ぎます。この伝統を守ることに努めますので、安心して託してください。

私たちが入学してから長いようで短い二年間を優しい先輩方と過ごせてよかったと心から思います。明日から先輩方と過ごす時間がないと考えるとこれほど悲しくなることはありません。できることならもっと多くの時間をともに過ごし、もっと多くの言葉を交わし、もっと多くの笑顔と思い出を作りたいかったです。

先輩方も、仲間とずっとたくさんの時間を過ごしたかったと思っていることでしょうか。しかし、そう思える仲間がいるということは、この先も一人ではなくたくさんの見方がいるということです。

この先進んでいく道は平坦な道ばかりではないかもしれません。ときには避けても通れない壁に直面することもあるでしょう。どれだけ失敗しても先輩方には素晴らしい仲間がいます。手を貸してくれる仲間がいます。どうか有明中で築き上げてきた仲間との絆を大切にしてください。

ここでの私の座右の銘を述べさせてください。それは「人生は敗者復活戦」という言葉です。この言葉には「負けて、失敗して、それで終わりではなく、その後どうするかを考えなければならぬ」という思いが込められています。先輩方にも負けや失敗を恐れずこれまで以上にたくさんのことに挑戦してほしいと思っています。

先輩方が羽ばたいていく未来が晴れわたる青空であることを願っています。別れの言葉は尽きませんが、私たちは先輩方がどんな時でも前向きに頑張る姿を尊敬しています。これからも前向きに努力し続ける先輩方でいてください。みなさんの明るい未来を願い、これからのご活躍を在校生一同、心からお祈りし送辞といたします。



成長を喜び、さらなる高みを目指して

校長 勝田 隆志

本日3月25日(月)修了式をもって、令和5年度の1年間の教育活動が終わりました。生徒一人一人が元気で充実した学校生活を送り、この日を迎えることができたのも、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力の賜であると心から深く感謝申し上げます。

先日行われた第77回卒業式では、会場の多くの人たちに祝福され、卒業生は立派に巣立っていきました。参加した在校生にとっては、目の前の先輩の姿に、自分の将来像を重ね、今後の目標に向かって決意を新たにすることができたと思います。

さて、この1年を振り返ると、まず大きな出来事としては、新型コロナ対策のための様々な制限が解かれ、教育活動や学校行事等が従来の姿に少しずつ戻ってきたことが上げられます。多くの保護者や地域の方々に見ていただいた合唱コンクールや体育大会、文化祭、駅伝大会等の学校行事では、生徒たちが団結し、躍動し、懸命に取り組む姿から、昨年度に増して多くの感動をもらいました。また、部活動(や剣道競技)では、地区大会を勝ち上がっての県大会出場やその他数多くの入賞を果たすなど日頃の練習の成果を十分に発揮してくれました。文化面では、市の音楽発表会やフェスティバルに出場、作文や美術のコンクールでは全国や県レベルの賞を次々に受賞しました。さらに、本校の生徒が地域行事に参加をしたり、運営のお手伝いをしたりと、地域の方々に喜ばれる活動や交流を積極的に行うことができました。1年を通して、生徒たちは身体も一回り二回りも大きくなり、心も強くたくましく成長したなあと感じます。

生徒たちは本日、修了証書(通知表)を持って帰ります。ぜひ、修了証書を親子で囲み、中身の一つ一つを一緒に確認しながら、親としてご自分の言葉で我が子のこの1年間の成長や成果を褒め、今後の課題や目標をじっくりと語っていただきたいと思います。子どもたちは大きな自信と深い愛情を感じるはずです。そのことが新年度の大きなエネルギーになります。

私たち職員も、生徒たちの1年間の歩みを振り返りながら、子どもたちの成長を喜び合い、一人一人の課題を明確に分析した上で、その改善に向けて来年度の指導を充実させたいと考えています。令和6年度も子どもたちの進路実現を目指し、教職員一同頑張っていきます。今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

「答辞」

卒業生代表

春の季節を感じる今日の良き日に、私たち、三年生61名は、ご来賓の方々、先生方、保護者の皆様の参列のもと、本日このように盛大な卒業式を迎えられたことに、深く感謝しております。

また、新たな旅立ちをする、わたくしたちに、ご来賓の方や校長先生から、心温まる言葉をかけていただき、身が引き締まる思いで聞いておりました。一つ一つの言葉を胸に、わたくしたちは、次のステップへと進んでいきます。

さて、わたくしたちは三年前、新しい制服に初めて腕を通し、この有明中学校に入学してまいりました。新しい環境に羽目をはずしすぎ、各先生方に言葉では表現できないくらいの、迷惑をかけてしまいました。わたし自信も先生方には随分と手を焼かせた一人であったと思っています。当時のことを考えるだけで、恥ずかしくなる思いです。

わたしは卒業式での答辞という大役を任せられてから、三年間のことを振り返ってみました。「喜怒哀楽」ありましたが、やはり、多くの各行事が心に残っています。

一年生の一番の思い出となっているのは、体育大会で応援団に入り、声を枯らしながらも一致団結して、暑い中、練習に励んだことです。先輩方について行くのが精一杯でしたが、当日、演舞を成功させ、つい涙腺が緩み感動したことを鮮明に覚えています。あの時の達成感は何とも言えないものがありました。本当に挑戦してよかったと思えた瞬間でもあります。

他にも宿泊学習があります。深刻な水不足となっている地域を想定し、水をバケツに入れ、頭に載せての水運びなど、記憶に残っています。これらの体験を通して学年が次第の一つになって行きました。

二年生では、やはり、二泊三日の修学旅行です。旅先へ向かうバスの車中で、級友たちとの何気ない話。長崎では、初めて見る被爆された方々の生々しい写真。目の当たりにし、戦争の恐ろしさ、命の尊さを知ることができました。そして、幸せに暮らせていることに感謝し、いつ同じようなことが起こってもおかしくない世の中なのかもしれない。ということを考えることもできました。今の暮らしが当たり前だと思っていけないということを、実感したときでもあります。

また、平和公園やグラバー園にも訪れました。グループによる自主研修で、地図を頼りに、決めた場所を歩き、長崎の歴史や文化を知りました。時間を忘れるほど皆で楽しむことができました。

最終日、晴天の中でのグリーンランドでは時間の許す限り、友達と楽しみ、大いに、はしゃぎました。

文化祭では、長崎での原爆の悲惨さを伝えるために劇をしました。それぞれの役割を責任を持ち一つのものを作り上げることができました。準備を進めていく中で友だちと言ひ合いになることもありました。それも良い思い出の一つとなっています。

そして最終学年。自覚のない、わたしたちでした。受検が迫ってくるにもかかわらず、学習する雰囲気のない、わたくしたちに、先生方から、「ちゃんとしなさい。受検生という自覚を持ちなさい。」と声を掛けられ、次第に学習する雰囲気が変わってきました。それから、前向きに、全員が志望校合格を目指して、努力し、乗り越えることができました。

さて、私事ですが、生徒会長として、皆の、模範にならなければいけない立場にありながら、不十分なことが多かったように思います。頼りない生徒会長であったと思います。そんな私を、生徒会役員・先生方は支えてくださいました。そして、何とかやり通すことができました。責任を全うすることがどんなに大変なことを知ることができました。貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。

後輩の皆さん、私たちは本日、卒業します。

四月からは皆さんが有明中学校の伝統を引き継ぎ、背負っていく立場になります。不甲斐ない先輩であったかもしれませんが、後のことよろしくお祈りします。わたくしたちのことを忘れないでください。

卒業するみんなへ。静かに目を閉じてみてください。本当にアツという間の三年間でしたね。大きかった制服も、大分、小さくなりました。毎日の授業。何気ない会話。楽しい給食時間。各行事。私たちの思い出は、アルバムの中に一杯詰まっています。これから進む道は違いますが、三年間お世話になったことを忘れず、それぞれの道で頑張っていきましょう。みんなのこと忘れません。十年後・二十年後全員でいつか会える日を楽しみにしています。先生方へ。わたくしたちを支え良い方向に向かうように導いてくださった先生方、三年間、本当にありがとうございました。

『思慮分別』のない行動をし、幾度となく、ご心配をおかけしました。そのわたしたちも、今日、卒業します。一人ひとりが、卒業証書を受け取る姿、先生方には、どのように見えたのでしょうか。少しは成長していますか。先生方の言うことに耳をかさずに、怒られもしました。それが嫌だったけれど、実は怒られなくなっただけで、本当は、一番きつかったです。本気になり真剣に、わたくしたちのことを指導してくださっていること、心に響いていました。卒業するのは寂しさもありますが、進学先で夢に向かって、自分の人生を思う存分進んでいきます。思いやりの気持ちを持ち、これからの人生を歩いていきます。お父さんお母さんへ。

私たちは、今日、卒業です。親の言うことを聞かず、口答えもしました。何度もぶつかりましたね。そんな私たちも卒業です。四月からは高校へ進学します。自分たちが如何に恵まれた環境にあり、自分のやりたいこと、好きなことがこれからもできる。本当に幸せです。また、心配をかけたりすることがあるかもしれませんが、よろしくお祈りします。

最後になりますが、四月から新しい学びの場で、将来の目標を叶えるために進学します。途中、大きな波にぶつかることがあるかもしれませんが、そんなときに決して諦めることなく、三年生一同、波を乗り越えていきます。

わたくし自身を、見つめ直すことができたこと。このように、盛大な卒業式を挙げていただいたことに、卒業生一同、改めて、心より感謝致します。

それでは、名残惜しいですが、校長先生をはじめ、諸先生方には大変、お世話になりました。先生方もお体を大切にされて、後輩たちのために、ご尽力ください。



おめでとう！！

【第3回英語検定結果】

2級	2A	2A
3級	2A	
4級	2A	2A
	2B	2B
	2B	2B
5級	2A	2A
	2B	2B
	2B	2B
	1A	1A
	1A	1A
	1A	1A
	1A	1A
	1A	

【第17回トヨタ夢のクルマアートコンテスト】

個人賞(最優秀賞) 3B

【第三回全国中学生春季通信弓道大会】

個人 優勝 2B

これからの主な行事予定

3月27日(水)	新旧PTA引継ぎ会(19:00～)
4月8日(月)	新任式・始業式・第78回入学式・1年役員決め
4月9日(火)	生活学習オリエンテーション
4月10日(水)	2・3年学級・学年PTA役員選出
4月11日(木)	生徒会入会式・部活動紹介
4月12日(金)	1・3年知能検査、2年AAI検査 交通安全教室(交通安全)
4月15日(月)	職員会議 標準学力検査
4月16日(火)	標準学力検査 家庭訪問1・2年 心臓検診
4月17日(水)	家庭訪問1・2年 身体測定
4月18日(木)	全国学力・学習状況調査3年(国・数)
4月19日(金)	避難訓練(地震)
4月23日(火)	家庭訪問全学年
4月24日(水)	家庭訪問全学年
4月25日(木)	家庭訪問全学年
4月26日(金)	家庭訪問全学年 前期生徒総会
5月2日(木)	授業参観(道徳)PTA総会
5月9日(木)	1・2・3年実力テスト1日目
5月10日(金)	1・2・3年実力テスト2日目
5月11日(土)	生徒会交流会